

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年1月10日 (2013.1.10)

【公開番号】特開2012-17341(P2012-17341A)

【公開日】平成24年1月26日 (2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-004

【出願番号】特願2011-224347(P2011-224347)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 0 7 K 16/30 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 E

C 0 7 K 16/30 Z N A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 C

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月9日 (2012.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

p 1 8 5 , E G F R 及び変異体 E G F R のうちの 2 つのヘテロダイマーの形成を阻害することにより E G F R 又は変異体 E G F R 蛋白質を含むマルチマー受容体集合物により提供されるキナーゼ活性を破壊する抗体の、腫瘍を有する個体を治療するために抗癌照射の前に投与される医薬の製造における使用であって、上記腫瘍は形質転換された表現型のチロシンキナーゼ活性を提供する上記 E G F R 又は変異体 E G F R を含むマルチマー受容体集合物を有する腫瘍細胞により特徴付けされ、キナーゼ活性の破壊は腫瘍細胞の照射に対する感受性を増加させ、そして上記マルチマー受容体集合物が、p 1 8 5 / E G F R ヘテロダイマー、p 1 8 5 / 変異体 E G F R ヘテロダイマー、又は E G F R / 変異体 E G F R ヘテロダイマーである e r b B ヘテロダイマーである、上記使用。

【請求項 2】

抗体が p 1 8 5 と E G F R のヘテロダイマーの形成を阻害する、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】

照射が複数回線量として施される、請求項 1 記載の使用。

【請求項 4】

照射がガンマ照射である、請求項 1 記載の使用。

【請求項 5】

e r b B ヘテロダイマーの形成が e r b B 蛋白質モノマーの物理的变化により阻害され、その結果、e r b B 蛋白質モノマーが熱力学的にダイマーを形成しにくくなっている、請求項 1 記載の使用。

【請求項 6】

物理的变化が E G F R 又は変異体 E G F R モノマーの立体の化学的变化を含む、請求項 5 記載の使用。

【請求項 7】

物理的变化が E G F R 又は変異体 E G F R モノマーのコンフォメーションの変化を含む、請求項 5 記載の使用。

【請求項 8】

物理的变化が E G F R 又は変異体 E G F R モノマーの静電変化を含む、請求項 5 記載の使用。

【請求項 9】

腫瘍がアデノカルシノーマである、請求項 1 記載の使用。

【請求項 10】

腫瘍がヒト胸部カルシノーマである、請求項 1 記載の使用。